

グリーンハーバー

NPO法人 みどりの市民 ニュースレター

No.62 号
2023. 9

発行:NPO法人
みどりの市民
〒380-8553 長野市若
里 4-17-1 信州大学
工学部 UFO ながの
高木研究室
発行人: 高木直樹

夏休み 環境学習 活動紹介 ~未来の子どもたちへ繋ぐために~

★エコアクティブ塾① 《あなたもサンキャッチャーになろう》

ソーラークッカーには理想的な青空の8月3日、若里公園でエコアクティブ塾「あなたもサンキャッチャーになろう」が開催された。今回はみどりの市民とNPO法人長野県NPOセンター、信州環境カレッジ協働講座として実施。参加者は親子10組で25人、スタッフはサマーチャレンジボランティア、各団体からで計11名、総勢36名、又新聞社等の取材もありで大賑わいのアクティブ塾となった。

講座は、高木代表の自然エネルギー・地球温暖化の講義からはじまり、参加者は家族毎の7つのグループになりソーラークッカーを組み立てた。親子で協力しながらソーラークッカーを太陽の移動に合わせて調整、ゆで卵と枝豆を茹で、太陽熱のエネルギーを確かめた。子どもたちに取り、野外での太陽の味は格別であったようだ。

《子どもたちのメッセージ》 電気やガスがなくてもここまでできることを知っておどろいた。(6年)



★エコアクティブ塾②《あらふしぎ！生ごみが消える～親子で生ごみ堆肥化にチャレンジ～》



8月8日、長野市ふれあい福祉センターでエコアクティブ塾あらふしぎ！生ごみが消える～が開催された。参加者は親子3組の7人、サマーチャレンジボランティア1名、講師は長野市生ごみ減量アドバイザー2名。クイズから始まり、絵本による微生物のお話、堆肥化用の段ボールの箱作り、生ごみの堆肥化実習で終了した。参加者は、夏休みに堆肥化実践ができるように基材入りの段ボール箱を持ち帰った。参加者は多くはなかったが、楽しく有意義なアクティブ塾となった。

《子どもたちのメッセージ》堆肥づくりには、微生物が生ゴミを分解してできることを知りました。環境にとってもやさしいので、SDGsの目標を達成できていい。家で堆肥づくりに挑戦したい。自由研究に役立つといいです。とても勉強になってよかったです。(小6)

★映画「マイクロプラスチックストーリー」を見て、考え、行動しよう

みどりの市民では、「海ごみを減らす」ための活動として、映画「マイクロプラスチックストーリー～ぼくらが作る2050年～」を若い世代に届けるために、上映会の支援事業を行っている。その一環で「信州環境カレッジ学校講座」に『映画「マイクロプラスチックストーリー」を見て、考え、行動しよう』を登録。今回その講座に飯山小学校4年生担任の涌井先生から応募があり、8月31日に飯山小学校に伺った。以下報告です。

授業は、1,2限目は二クラス合同で映画の視聴、3,4限目には班ごとに、映画の感想、身の回りのプラスチック、脱プラのために何ができるかを考え、最後に発表をしました。

米国の小学生が主役という内容から、小学生が実際にプラスチックの調査をしたり、削減を考え行動する姿を児童たちは興味深く熱心に視聴していた。子どもたちにとって効果的な映画であると思う。ぜひ、多くの学校に広めたいです。

《子どもたちのメッセージ》 ペットボトルなどがどうやって海にいったらマイクロプラスチックになるのかがよくわかりました。(あいか)



地球温暖化！！ どうする わたし・あなた

地球温暖化といわれて久しい。とうとう沸騰化と言われ、地球規模で異常気象による干ばつ、洪水、山火事が頻発している。北極では氷河が溶け出し、生態系に多大な影響を及ぼしている。こんな地球に誰がした。誰の所為！！ 「地球温暖化！！ どうする わたし・あなた」と題して、思いや実践していることなどを、理事や会員の皆様から募集しました。 あなたはどうしますか？

温暖化対策、あれこれ思いつくままに我が家の実践



《ゼロエネルギーハウスの実現》

1. 夏は夜中に 24 時間換気扇を強で運転して、家の中を冷やす。エアコンより省エネです。昼間は切るか弱の運転。
2. 朝ごはんのゆで卵は私の役割です。ゆで卵を作ったお湯を使ってコーヒーのための水を温めます。それをやかんに入れて、沸かしてコーヒーの抽出。これは麺やホウレン草をゆでるときにも応用。
3. 通勤は自転車
4. 家の中に 10 台近くあるデジタル温度計で温度の監視。毎日のようにしていると 1 度の違いで暑い、快適、涼しい、寒い判断が的確にできるようになり、それをもとにエアコンを運転。
5. 家の中が暑く、外気温が下がる夜に、窓を開けて風の方向を見定めて、窓際に扇風機を設置して風を送り出す。これで室内の通気をよくして、エアコン運転の節約。
6. 25 年前の住宅なので今時の省エネ住宅と比較すると性能が低いので、窓（プラスチックサッシ+ペアガラス）が弱く、すべての窓にポリカーボネート板を DIY で張り付けて断熱性能の強化。
7. この程度のことをしてはいるのですが、25 年前に高気密高断熱住宅を建て、10 年前に太陽光発電パネルを設置したおかげで、暖房は床下エアコン 1 台の常時運転+補助でリビングと寝室のエアコンを運転。冬でも家中 16℃以上をキープしています。夏は寝室のみですが基本的に一晩中 27℃をキープ。
8. これらの組み合わせで住宅だけだとゼロエネルギーハウスの実現。光熱費も年間を合計するとプラス状態を実現しています。

代表理事 高木直樹

生ごみ減量アドバイザー line より

～つぶやきから～

《松本玲子》

母の言葉より

「これもみんな人間がやったことなんだから、しょうがないんだ！

おじいちゃんのように自転車に乗ってればこんなふうにならなかったんだ！天罰だよー！」

《小杉良子》

素敵なお母様ね。お父様も。私の父上も 80 才過ぎても愛用の自転車を乗り回していたわ。ありがとう。父の事を思い出させて頂きました。

この夏の猛暑日ね。～節電で してはいけない 無理と無駄～を詠んだ俳句を見つけたの、熱中症に注意のこの夏、節電を意識した夏だったわねー
温暖化問題、真剣に対策を、と思うわねー天罰が、有難う。

《松本玲子》

ありがとうございます！

父は大正 10 年生まれで、畑に行くのも自転車でした。夏は朝 3 時に起きて自転車で！

母は三島茂子 昭和 3 年生まれ！もうすぐ 95 歳です♪



温暖化対策 社会全体で

長野県の豊かな自然を生かして

今年もまた猛暑で、国連では「地球沸騰！」と言う。そして、この傾向は今後も続くとみられ、来年はさらに暑くなることも覚悟しなければならない。環境教育をしているのでなるべく車やクーラーを使わない生活をしてきたが、年もあつてさすがに最近はクーラーも車も使わざるをえなくなった。暑くなればなるほどクーラーを使い、熱波に拍車をかける、人類の愚かさとしか言いようがない。つまり温暖化対策は個人レベルではもはや追いつかないことが明白であり、社会全体で行政を動かして対応しなければならない段階になったのだ。幸い長野県には豊かな自然があり、それらを生かして水力や有機農業などを興し、豊かな暮らしを再構築することができるのではないだろうか。自然を生かした暮らしをすればこの暑さも少しは凌ぐことができよう。そんなアイデアを出し合い熱い議論をすることでこの暑さを乗り切りましょう。

理事 渡辺隆一



地球温暖化への想い

今年は特に暑い日が多く感じられます。地球温暖化による影響と考えられますが、世界各地で起こっている大雨による水害、落雷等の原因による大規模な山火事など自然災害が増加しているのも温暖化によるものです。私は、防災にも関心があり活動もしていますが、通常の防災は災害の発生を前提としており、災害そのものを発生しないようにしていくという根本的な解決にはなっていないと思っています。温暖化によってもたらされる災害を減らすには地球を冷やしていかないといけないのですが、その観点はありません。そのため私の取り組みとしては、温暖化と防災を関連付けて、まずは理解してもらうことです。2019年に、アル・ゴア元アメリカ副大統領による気候危機への対策「クライメイト・リアリティ・プロジェクト」の研修に参加させていただき、日本支部に登録して情報交換をしています。世界的なプロジェクトで、世界には45,000人のリーダーがいます。効果が見えにくく長い時間がかかりますが、危機感を持って少しずつでも前進できることを目指していきたくと思っています。

理事 小池 啓道



温暖化対策活動に関与して15年以上

早いもので温暖化対策活動に関与して15年以上経過しました。この間、“温暖化防止”対策が主体で、自身の活動が社会全体に影響を与えられるのか疑問と微力さを感じながらの活動でした。

近年行政(国や地方自治体)による“ゼロカーボン宣言”がなされ、新たなスタートを切ったとその実現に向かったの具体的行動に期待大の思いが強くなります。また、企業や教育機関でのSDGsへの取り組みや関心の高まりも同様です。気になるのは今年も顕著となった地球規模での異常気象です。高温や多雨による気象被害が多発し、人命や農作物が危険にさらされています。

将来の予防策と同時に喫緊の「地球温暖化適応策」の強化が急がれているように感じます。今、そして未来の人命を守ることが最も大切です。

個人的には自分の命を守る行動と温暖化防止や環境汚染の防止策にこれまでと同じく自分にできることを継続していきたいと思っています。(微力ながら)

2023.9.1 理事 山口吉久

我が家のエアコンなし生活

平日は中御所のコンクリートマンション、土日は安庭にある古民家をリフォームした夫の実家の二拠点暮らしをしている。山と畑に囲まれた安庭の生活は心身に潤いをもたらしてくれる。それにしても今年の夏の暑さは異常だ。お彼岸を迎えようとしている今日(9月17日)も長野地方の最高気温は36度。できるだけ冷房に頼らない生活を心がけているが、熱中症予防のアラートに中御所のマンションでは冷房をガンガン入れなければ体がもたないが、安庭では扇風機で過ごす。朝方、家中の戸を開けて、めいっぱい涼しい外気を入れ、暑くなる8時から9時にはすべての戸、窓、カーテン、廊下の戸も閉めて暑い外気を遮断する。今日午後2時現在、屋外は36℃。私たちがいる部屋は28.5℃。読書しながら涼しくなるのを待つ。涼しくなったら、また戸を開けて、外気を入れよう。こうして、何とか熱中症予防と省エネを工夫している。それにしても今年の夏は暑い。例年よりトンボも少ない。そろそろアキアカネの季節なのに、昆虫の世界にも異変がおきているのだろうか。涼風を運んでくるトンボが待ちどおしい。

理事 渡辺ヒデ子

2023年度 みどり農園だより（ナガブロより）

みどり農園へ行こう！

7月23日「汗だくの作業は非日常体験

～大活躍したサマーチャレンジボランティアの中学生～



梅雨明け直後の7/23(日)朝9時から作業を開始。今回はサマーチャレンジボランティア2名(川中島中学3年生)の応援で14名(子供3)の参加です。30分ほどの草むしりの後、本番のじゃが芋(男爵、きたあかり、メイクイン)掘り。猛暑のためこまめに水分補給をしながら

の作業。男子中学生の体力のお陰で、じゃが芋掘りは約1時間で終了しました。ミミズ、カエルにネズミまで飛び出す大騒ぎの一幕も……。掘った芋はみんなで仲良く分配し、11時前に解散。暑い中、お疲れさまでした。

8月23日「大根の種まき～収穫予定は2ヶ月後～」



まだまだ猛暑が続いていますが、今日の作業は夕立を期待して大根の種蒔き。朝9時から約1時間、近藤さん田中さん山口でまず、草取り。蒔いた種は「長大根」と「聖護院(丸大根)」

の2種類。2ヶ月後には収穫できる予定です。今年は大豆がないので脱穀もありません。二回目のサツマ芋掘りと合わせて大根掘りになる感じです。個人の耕作地も順調のようですが、作業間隔が開いた方は作物が成長しすぎのところも散見されます。〈文・ブログより山口文責〉 **活動状況はみどりの市民HP上のブログに掲載しています**

「個菜園」スタート 収穫物を賞味

今年から「みどり農園」はこれまで全体で耕作していた「大豆」を止めて全体の約6割を「個菜園」(希望者個人の菜園)としてスタート。理由は高齢化や大型機械の手配の困難等です。全体部分はじゃが芋とサツマ芋です。じゃが芋の収穫は7月23日、お盆明けにはじゃが芋の跡地に大根の予定です。現在個菜園には会員5人が参加。週一程度で皆さん草取りや土寄せに精を出し、トマト、キュウリ、ブロッコリー等の収穫物を各家庭で賞味しています。



大豆
中村家



キュウリ
近藤家

お知らせコーナー

全国スーパーマーケット環境調査 参加者募集

海洋プラスチック問題の解決やそのためのプラスチックの消費削減が世界的な課題になっています。その多くを占めるプラスチック製容器包装が、暮らしの中でどれだけ使われているか、全国のスーパーマーケット店頭で環境調査が行われます。「未来の売り方・買い方」を考える基礎データを得るためです。みどりの市民も参加します。現在その参加者を募集しています。

- ・調査期間/10月～11月、平日(14時～16時) ・調査店舗/ツルヤ、デリシア、西友 各2-3店舗
- ・調査の月日は参加して下さる方と相談の上決めます。関心のある方は事務局までご連絡下さい。

【予告】 アドレスの変更 現在使用しているメールアドレスが12月で使用できなくなります。新メールアドレスは下記です。
【midoric23@gmail.com】9月から使用可能です。順次移行していきます。

みどりの市民の会員数 (2023年9月1日現在)

正会員 39人 賛助会員 12人 団体賛助会員1団体
〒380-8553 長野市若里4-17-1 信州大学工学部

UF0 ながの高木研究室内
TEL&FAX 026-269-5092
E-mail: midorit18@shinshu-u.ac.jp
URL <http://midorinoc.sub.jp/>



「キャンパスの一隅にて」7月中旬からお彼岸まで、ただひたすら暑さに耐え忍んできた2ヶ月。私の義理の母はよく開關(かいびやく)以来ということをやっていた。今年是世界中で観測史上初の洪水、山火事などがおきている。地球温暖化による影響、人類のなせるわざ。まさしく開關以来のような気がしてしまう。以前のような夏の暑さを楽しんだ穏やかな夏が懐かしい。(H.W)